

状況を踏まえ、同社と協議を重ねた結果、市民の皆さんへの周知などを勘案し、20年度の1年間に限り延長することで対応しましたが、20年度の保険期間の満了日をもって本制度を廃止しようと考えています。

◆**入札方式** 昨年度より制限付一般競争入札を一部に導入してありますが、従来の入札方式に加え、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決める総合評価方式を今年度試行的に実施する予定です。

今後、最適な入札方法を選択すること、さらに競争性、透明性を確保したいと考えています。契約における「単品スライド条項」の適用では、市発注の建設工事の契約は、最近の資材価格の高騰を踏まえ、条項の規定に基づく請負代金額の変更を円滑に行うことができるよう、運用基準を定め、8月1日より適用することとしました。

単品スライド条項で適用する

寄 附

◆**小中学校の教室用…**▶扇風機100台(30万円相当)＝野田市青少年教育会代表他3団体の虫恵子様他3団体

のは、資材の鋼材類と燃料油で、対象資材の価格上昇に伴う増額部分が当初請負金額の1パーセントを超える額を契約変更の対象とするものです。

◆**小中学校のトイレ改修工事**
清水台小学校ほか1校で、洋式便器への改修工事を夏休み期間中に完了しました。

◆**AED(自動体外式除細動器)の設置** 本年度は第一中学校、岩名中学校、関宿中学校、二川中学校に設置し、中学校は全校設置となり、設置公共施設は全部で29か所となりました。



中学校教員を対象とした講習会を実施

◆**ゆめ半島千葉国体** 市実行委員会は、8月8日に総務広報、交通宿泊衛生の各専門委員会、11日に施設、競技式典の各専門委員会、29日に常任委員会を開催し、各種基本計画の策定などを行いました。

◆**集中豪雨の状況と対策** 8月28日から31日にわたり発生した集中豪雨の状況ですが、8月28日から29日にかけては、関宿地域に局地的な集中豪雨が発生し、総雨量は関宿地域で209ミリ、野田地域で30ミリ、時間最大雨量は関宿地域で28日22時に110ミリ、野田地域で29日3時に8ミリでした。

関宿地域の時間最大雨量の110ミリは、過去30年間の観測記録と比較すると第1位で、2位(48ミリ)の約2・3倍の降雨量で、まさに猛烈な雨であったといえます。

8月30日から31日かけての降雨の総雨量は、関宿地域で103ミリ、野田地域で131ミリ、時間最大雨量は、関宿地域で30日の19時に40ミリ、野田地域で30日の18時に27ミリでした。

主な被害状況ですが、28日から29日は、全て関宿地域のみで、家屋の床下浸水が11戸、敷地内浸水が6戸、道路冠水が7か所でした。

30日から31日は、床上浸水が1戸、床下浸水が51戸、宅内浸水47戸、道路冠水46か所でした。

また、只今申し上げました以外の豪雨の影響などを申し上げます。

まめバスの運行は、8月30日、道路冠水や迂回運行により7便に最大40分の遅れがありました。次に、農作物の被害は調査中ですが、調査時点では被害は見受けられない状況です。

しかし、今後病害虫発生などの影響が出る可能性があるため、引き続き状況把握に努めます。

また、水稲は、排水機場による排水を行っているため、現状では水に浸っている水稲は見受けられない状況です。影響を県振興センターに確認したところ、水に浸かっている時間が短かったことから、問題はないとのことでした。

なお、江戸川、利根川の両河川敷を占用している採草地は、全占用区域で冠水による被害が生じています。

次に、野田市パブリック・ひばりコースは、8月30日から9月1日の3日間、コース内冠水によりクローズとなりましたが、2日より営業を開始したところです。

また、江戸川河川敷運動広場は、8月29日から冠水し9月1日午後6時時点で水が引けた状態ですが、使用開始までには数日かかるものと思われまます。今回の大きな被害をもたらした

たことは、下水道や幹線水路整備の計画が、時間50ミリで、計画の2・2倍にあたる110ミリの集中豪雨があったこと、さらに、2波目の豪雨までの間隔が短く、地盤が水を含んでいて地下に浸透しにくくなったため、降雨のほとんどが地表に流れ出したことが、大きな原因と考えています。

市では、これまでも都市基盤整備事業の重要ポイントとして浸水対策を実施してきました。旧野田市では、平成5年に市内各地で浸水被害が発生しましたが、水路の整備や座生川の改修により、浸水被害を大幅に減少させることができました。

しかし、開発行為などで新たに発生した地域や、遅れていた旧関宿地域の整備が必要で、限られた財源のなかで、工夫をこらしながら、整備を進めてきました。

今回、整備計画を大幅に上回る降雨水があったわけですが、整備の必要性を認識して計画を現在しているところ、また、工事を行っているところ、さらに、今回、新たにおこった箇所を含めて、総合的な検討を実施し、優先順位をつける必要はありますけれど、できるだけ早期に整備を進めたいと考えているところです。